

# 政務調査報告

## 政友会

〔浜崎昭臣・江浦政巳・平山泰司・黒田忠広・奈良崎利幸〕

5月9日～11日 沖縄県石垣市にて視察  
 〈内容〉

### ●企画部すぐやる課の取り組みについて

天草市誕生後、各地区の住民より合併前に比べて市の対応が遅いという意見が多くあり、より良く市民のニーズに対応するために石垣市の「すぐやる課（平成22年6月設置）」を視察。

すぐやる課の受付件数（平成22年度）は、  
 第1位 道路に関する事 224件  
 第2位 防犯灯の新設、修理 133件  
 第3位 樹木の枝打ち、除草 87件  
 すぐやる課では簡単にできる事は即時対応し予算規模が大きい物件は、関係部所と協議のうえ対応しているとの事でした。

### ●石垣公設市場視察

第2種大規模小売店舗として石垣市が設置。昭和62年竣工（鉄筋コンクリート造り3階建、敷地面積1255㎡）。平成18年度には指定管理者制度に基づいた管理運営となり現在に至る。平成19年度には、まちづくり交付金事業で改修工事を実施されていた。

これから天草市においても、民間に業務委託が多くなることから、先進事例として視察研修を行った。



## 天政会

〔本田武志・吉川徳澄・中村五木・脇島義純・池田裕之・中村三千人・勝木幸生・宮下幸一郎〕

5月15日～17日 長野県長野市、同県軽井沢町にて視察

〈内容〉

### ●長野市地域公共交通総合連携計画

#### “市民の暮らしを支える”バス交通プラン

長野市は平成17年3月に長野市バス路線網再編基本計画の策定。

これは、市民の移動手段に関する現状と課題及び地域の実情を踏まえ、市民生活に密着した生活移動手段であるバス交通を「都市のインフラ」と位置付け、バス交通の確保充実を図るものです。

- ・新規路線新設の検討
- ・コミュニティバス等の運行
- ・中山間地域輸送システムの構築

- ・移動需要に合わせた運行の確保
- ・ITを活用した情報提供システム
- ・効率的な運航路線、内容に見直しなど、市民の足の確保を計画的かつ効率的に具体的再編策として市民サービスを最大限発揮するもの。

### ●軽井沢町社会福祉協議会

#### 地域通貨を利用した支え合い活動

地域通貨を使用し、463人の登録者の「災害時の支え合い」と一人暮らしの高齢者等の見守りと買い物支援を柱とする「安心生活創造事業」の連携で人と人をつなぐ縁結び、自然な支え合いの関係性を築いていくことを活動の目指すところとしている。

## 新風天草

〔古賀源一郎・濱洲大心・鶴戸継啓〕

5月22日～23日 高知県ゆずはら町にて視察

〈内容〉

### ●自然エネルギーの取り組みについて

ゆずはら町は四国山脈の山頂付近に位置し人口約3800人の町、前町長より引継ぎ、森、水、風、光などの自然エネルギーの活用に取り組み、2050年には、エネルギー自給率100%を目指している町です。

現在取り組んでおられる主なものは、太陽光発電（庁舎、公共施設、個人住宅等に設置）小型水力発電、落差6mの川に設置、昼は学校に夜は街灯に使用されている。



## 若山敬介

8月20日～21日 神奈川県横浜市にて研修

〈内容〉

### ●自治政策講座に参加して

①自治体財政の適正化とは②自治体福祉政策と財務③住民が地域医療を作る④東日本大震災と自治体の対応⑤自治とは何かの5講義を受講しました。特に、地域医療に関する講義と東日本大震災に関する講義は、一般質問でも取り上げた内容でしたので非常に勉強になりました。

我が天草市も公立病院を運営する中で、全国的な問題である医師不足、医療従事者不足に悩まされています。しかし、講義では「バッファー（緩衝器）の医療」つまり新型インフルエンザや社会的弱者への対応を担うことや職員定数を緩やかにして収益を向上させることが重要だとのことでした。

震災における対応としては、近隣自治体との連携が重要であり、防災計画はコンパクト版の作成が必要。また、緊急時避難行動計画を優先した方が良いとのことでしたので今後も提言したいと思いました。

# 「議会基本条例を制定するに至った背景等について」

議会改革調査特別委員長 田中 茂

### ●はじめに

平成18年3月27日、2市8町の合併により、「天草市」が誕生し、同年4月23日、天草市議会議員選挙が行われ、議員定数30人からなる天草市議会が発足しました。4年後の平成22年3月28日には、第2回目となる市議会議員選挙が行われましたが、そこでは、合併後の4年間に於ける地域状況の変化や議会、議員に対するきびしい声が多く寄せられ、議員間の協議においても、「このままでは議会と議員の存在意義が薄れていくのではないか」などの意見・課題等が出されたところでした。

このような状況から、改選直後の平成22年4月の臨時会において、議会改革の必要性を共通認識し、今後の市議会のあり方など議会改革に関する件についての調査研究を目的に「議会改革調査特別委員会」が設置されたところでした。

そこで、委員会としましては、全国の市議会の取り組み事例や県下の市議会の状況等を踏まえ、まずは、「議員定数」及び「議

員報酬」について、そして、総合的なものとして「議会基本条例」の制定に向けて、調査・研究に取り組むことにいたしました。

### ●条例制定に向けての取り組みと主な内容

「議会基本条例」については、平成23年3月の定例会において、制定に向けた取り組みを一層加速化させていくことを報告し、その後、先進地視察を行うなど検討・論議を重ねてきたところでした。そして、本年1月には、市内3会場（本渡・牛深・御所浦）で「意見交換会」を開催し、2月には、ホームページ上でパブリックコメントを実施し、併行して、執行部との調整等を行ない、3月の定例会において「天草市議会基本条例」を提案し、可決制定をされました。条例は、「議会及び議員の活動原則」や「市民と議会の関係」、「行政と議会の関係」等について規定していますが、中でも特筆すべきものとしては、「広報広聴の充実（議会だよりの発行）」と「議会報告会の開催」があります。これまでは、議会側が正

確な情報を皆さんにきちんと伝え、それに基づき正確な意思表示をしてもらうというような機会はなかなかありませんでしたので、今回、このような「広報広聴活動」を約束事とするためにも条例化に取り組むことになりました。

### ●おわりに

当然、条例を制定しただけでは何の効果もありません。これは、あくまでも議会改革を実施するための一つの手段です。で、行動が伴わなければ何の意味もなく、これからが本場の正念場であると思っております。議会改革を推進するに当たっては、現状をよく理解せず、議会が皆さんにどう思われているのかをわからないまま行っても、それはやみくももの改革になってしまいます。

まずは、取り組み始めた議会だよりの発行（広報活動）及び議会報告会の開催（広聴活動）等を通じて、議会に対するご意見、ご要望等をお聴かせいただき、市政及び議会活動に反映させてまいりたいと思っております。

実績と今後の予定	期日	地区	場所	時間
	9月1日	牛深	支所2階	午後7時30分～
	9月1日	有明	町民センター	午後7時30分～
	9月29日	倉岳	多目的研修集会施設	午後7時30分～
	10月5日	栖本	福祉会館	午後7時30分～
	10月26日	本渡	市民センター大会議室	午後7時30分～
	11月5日	新和	町民センター	午後7時30分～
	11月5日	天草	高浜公民館	午後7時30分～
	11月12日	五和	おおくす	午後7時00分～
	11月19日	河浦	支所2階	午後7時30分～
	11月20日	御所浦	支所2階	午後7時30分～

今後とも議会改革に対しましては、皆さんのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※「天草市議会基本条例」は、市のホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。